

には、リンクがあります。 は、WAMNETの事業者情報にリンクします。

外部評価の結果

事業所名 グループホーム **夢（横井事業所）**

日付 平成16年12月21日

評価機関名 有限会社
アウルメディカルサービス

評価調査員 薬剤師・介護支援専門員

痴呆介護経験8年、障害者、老人介護支援

[自主評価結果を見る](#)

[評価項目の内容を見る](#)

[事業者のコメントを見る\(改善状況のコメントがあります！\)](#)

講評 全体を通して(特に良いと思われる点など)
 一日の生活リズムの中心を、午後の入浴と、レクリエーションに置いて、計画性を持って取り組んでいる。
 入居者が、今まで楽しんできた趣味などを手作業に活用。職員は、励ましの声かけをしながら、編み物、習字などを一緒に行ったり、簡単なリハビリ体操などを行って午後のひと時を過ごしている。
 この間に、入居者は入浴を順番に行うなど手際よい。

家族がグループホームに来てくれる事を、入居者は望んでいるし、来訪により精神面での安定も図れる。「夢便り」の発行、家族会の設置をはじめ、着替えの枚数を少なくし、持ってきてもらう回数を増やすなどの小さな工夫も行き、家族との接点を増やそうと努力している。家族会では、年2回、職員・入居者・家族と一緒に遠足やクリスマス会を行い親睦を深めている。

近隣の住民との関係もよく、入居者の作った作品を展示するホーム内の文化祭、夏祭りや、敬老会には大勢で参加してくれ、大いに盛り上がる。ボランティアも多数来てくれている。ハンドベル、大正琴、和太鼓演奏から、中学生が庭に花を植えてくれるなどさまざまである。

改善の余地があると思われる点
 特になし

I 運営理念

番号	項目	できている	要改善
1	理念の具体化、実現及び共有		
記述項目 グループホームとしてめざしているものは何か 自分が愛され、大切にされ、個々の人間として健やかな家族関係を実施する。生活の流れを大切に、安心して、生き生きとした生活が出来るようにサポートする。 「家族のぬくもりで、皆が笑顔で楽しく」を目標として、優しく声かけを行い、ご家族に出来るだけグループホームに来てもらえるよう努力している。			

II 生活空間づくり

番号	項目	できている	要改善
2	家庭的な共用空間作り		
3	入居者一人ひとりに合わせた居室の空間づくり		
4	建物の外回りや空間の活用		
5	場所間違い等の防止策		
記述項目 入居者が落ち着いて生活できるような場づくりとして取り組んでいるものは何か 入居者の話を、よく聞き、常に一緒にいて落ち着いてもらうようにしている。家族にも、来てもらって、協力しながら落ち着いた生活が送れるようにしている。また、一日の生活リズムの中心を、午後の入浴と、レクリエーションに取り組んでいる。			

III ケアサービス

番号	項目	できている	要改善
6	介護計画への入居者・家族の意見の反映		
7	個別の記録		
8	確実な申し送り・情報伝達		
9	チームケアのための会議		
10	入居者一人ひとりの尊重		
11	職員の穏やかな態度と入居者が感情表現できる働きかけ		
12	入居者のペースの尊重		
13	入居者の自己決定や希望の表出への支援		
14	一人でできることへの配慮		
15	入居者一人ひとりにあわせた調理方法・盛り付けの工夫		
16	食事を楽しむことのできる支援		

III ケアサービス(つづき)

番号	項目	できている	要改善
17	排泄パターンに応じた個別の排泄支援		
18	排泄時の不安や羞恥心等への配慮		
19	入居者一人ひとりの入浴可否の見極めと希望にあわせた入浴支援		
20	プライドを大切にされた整容の支援		
21	安眠の支援		
22	金銭管理と買い物物の支援		
23	痴呆の人の受診に理解と配慮のある医療機関、入院受け入れ医療機関の確保		
24	身体機能の維持		
25	トラブルへの対応		
26	口腔内の清潔保持		
27	身体状態の変化や異常の早期発見・対応		
28	服薬の支援		
29	ホームに閉じこもらない生活の支援		
30	家族の訪問支援		
記述項目 一人ひとりの力と経験の尊重やプライバシー保護のため取り組んでいるものは何か 編み物でマフラーを作る。押し花、習字、色塗りなど無理のない範囲で、以前やっていた趣味などを励ましながら一緒に行っている。ホーム内で文化祭を行い、作品を展示。家族や近所の人たちに見てもらっている。			

IV 運営体制

番号	項目	できている	要改善
31	責任者の協働と職員の意見の反映		
32	家族の意見や要望を引き出す働きかけ		
33	家族への日常の様子に関する情報提供		
34	地域との連携と交流促進		
35	ホーム機能の地域への還元		
記述項目 サービスの質の向上に向け、日頃から、また、問題発生を契機として、努力しているものは何か。 暴力的になりやすい入居者に対して、職員は出来るだけ言う事をよく聞いてあげる。優しく声かけをする。その上で家族の協力を得て、ドライブなど気分転換を図る。日ごろから家族との連絡を密にし、頻りに面会に来てもらえるよう働きかけている。			